

社会資本総合整備計画

平成25年3月29日

計画の名称	栃木県における安全で快適な生活をつくる下水道整備									
計画の期間	平成22年度～平成26年度(5年間)			交付対象	栃木県、宇都宮市、足利市、栃木市、佐野市、鹿沼市、日光市、小山市、真岡市、大田原市、矢板市、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、下野市、上三川町、益子町、茂木町、市貝町、芳賀町、壬生町、野木町、岩舟町、高根沢町、那須町、那珂川町					
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。									
計画の成果目標(定量的指標)	①栃木県内の下水道処理人口普及率を60.1%(H22)から64.1%(H26)に増加させる。 ②栃木県内の下水道による都市浸水対策整備区域を9,405ha(H22)から9,677ha(H26)に増加させる。 ③栃木県内の下水道長寿命化計画策定自治体数を1自治体(H22)から13自治体(H26)に増加させる。									
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考			
				当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)				
①住民基本台帳を基に、公共下水道の利用可能な人口を調査し、全体に占める割合を算出 公共下水道供用開始公示済区域内人口(人) / 住民基本台帳に基づく行政人口(人)				60.1%	62.6%	64.1%				
②下水道による都市浸水対策整備区域(※その他関連する事業と一体となって得られる事業効果) 浸水対策完了済み面積(ha)				9,405ha	9,565ha	9,677ha				
③下水道長寿命化計画策定市町 下水道長寿命化計画作成済みの自治体数(自治体)				1自治体	8自治体	13自治体				
全体事業費	合計 (A+B+C)	52,763 百万円	A	50,812 百万円	B	0 百万円	C	1,951 百万円	効果促進事業費の割合 $C / (A + B + C)$	3.7%